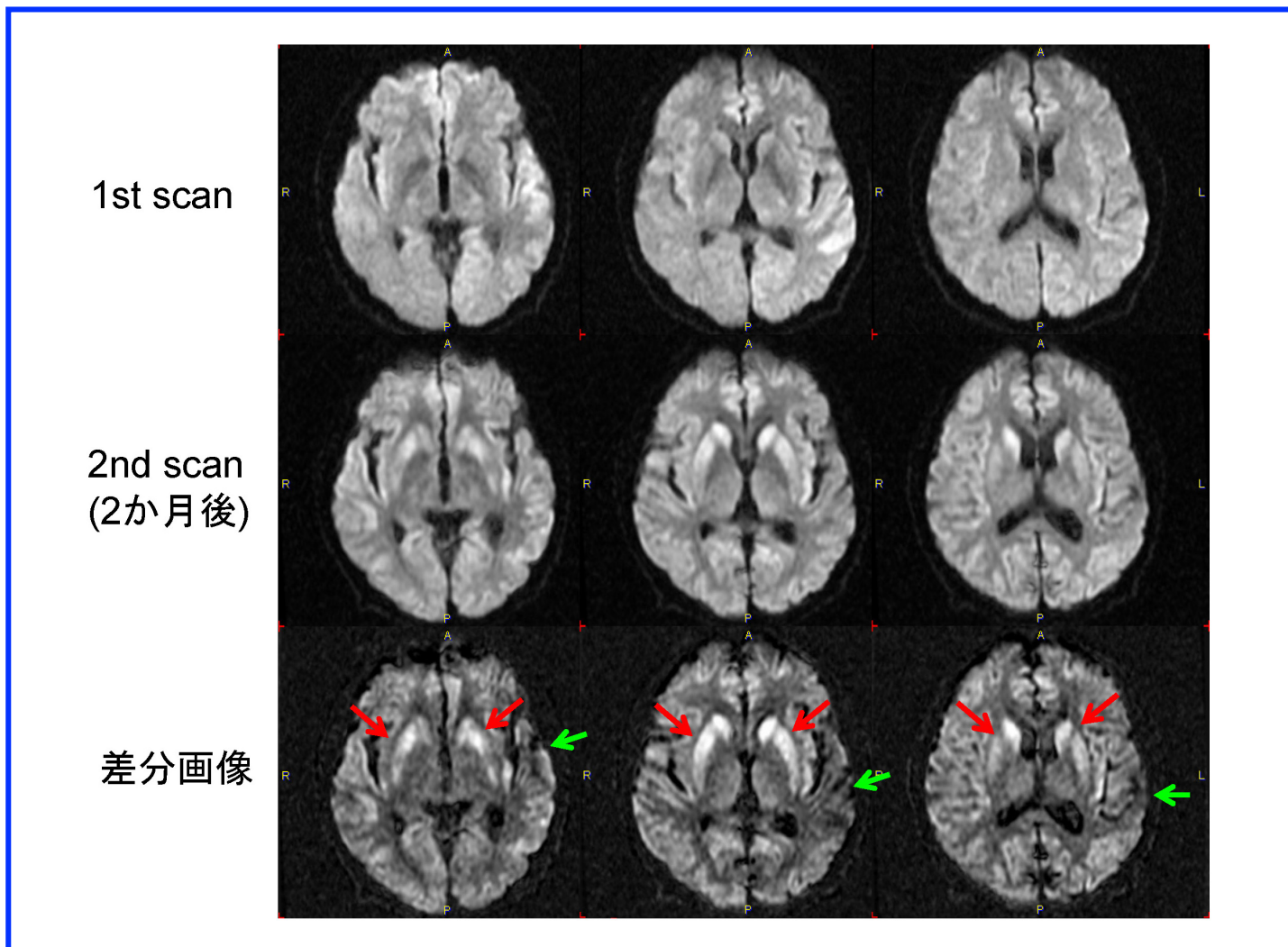


## プリオン病早期病変の経時的変化の自動解析法

研究分担者: 岩手医科大学医歯薬総合研究所超高磁場MRI診断・病態研究部門 佐々木真理



### 解 説

1. 画像統計解析法を用いて、MRI拡散強調画像におけるCreutzfeldt-Jakob病の早期病変の経時的変化の自動解析法を開発しました。
2. 差分画像において、1回目に対し2回目の検査で新たに出現した病変は高信号(赤矢印)、消褪した病変は低信号(緑矢印)で表されています。
3. 本法は、将来の早期治療介入の薬効評価指標として有望と考えられます。